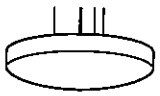
Panasonic®

取扱説明書

保管用
保証書別添付
施工説明付き

住宅用照明器具(ペンダント)



品番 HFD8000C HFD8000CN

お客様へ このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(1～2ページ)を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ この説明書は必ずお客様にお渡しください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。

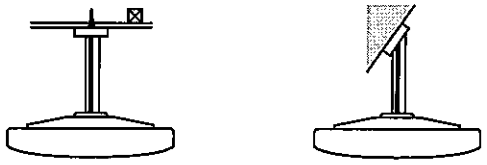
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

禁止

■次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・補強のない薄い場所(ベニヤ板、石こうボードなど)
・55度を越える傾斜した場所



●この器具は天井面取り付け専用です。

必ず守る

■交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

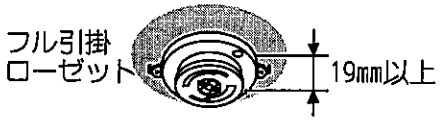
■異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

■取付金具は補強材のある場所に確実に取り付ける
落下によるけがのおそれがあります。

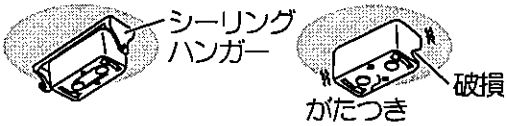
禁止

■次のような配線器具には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・出しろの多いもの



・シーリングハンガーが取り付けられたもの
・がたついたり、破損しているもの



・斜めに取り付けられたもの
・ケースウェイに取り付けられたもの

●販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。(交換には資格が必要です。)

分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
●1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき自主点検してください。

必ず守る

■器具の高さ調整時、器具を下げる場合はワイヤー操作の前にコードを引き出す
コード破損の原因となることがあります。

■器具の高さ調整時、ワイヤーの調整パイプを操作する時は、本体を片手でしっかりと支えながら行う
調整パイプを押し込むと器具は急激に下がりますので、守らないと落下によるけがの原因となることがあります。

■器具の高さ調整後、ワイヤーがたるんでいないことを確認する
コード破損の原因となることがあります。

■付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
●器具の真下にストーブなどを置かないでください。

■他の調光器と組み合わせて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。
●販売店、工事店に調光器の取り外しを依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

接触禁止

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
●この器具は防湿、防雨型ではありません。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- ●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- ●周囲の温度が低いと、蛍光灯が明るくなるまで時間がかかったり、温まるまでちらつくことがあります。
  また、点灯直後のリモコン動作が悪い場合ががあります。
- ●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。
- ●壁スイッチがないとリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
  (本体のリモコン受信器の「補助スイッチ」を押せば消灯/全灯は可能)
- ●壁スイッチをOFFしなければ、消灯時も電力を消費します。
- ●低誘虫(虫がよってこない)機能は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また周囲の光環境によっても効果に差が生じます。

【 周囲の影響 】

- ●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- ●器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコンなど)のリモコンが動作しにくくなることがあります。

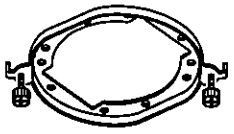
付属部品の確認

施工する前にまず付属部品をご確認ください

□配線器具
(角型引掛シーリング(1個))

□引掛シーリング用木ネジ(2本)

□取付金具(1個)
本体止めネジ(2本)



□取付金具用木ネジ(2本)

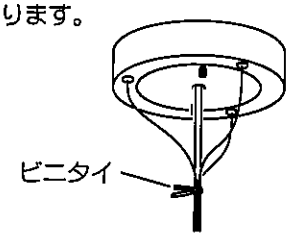
●使用しない付属部品は大切に保管してください。
引っ越しなどで配線器具が変わったときに必要な場合があります。

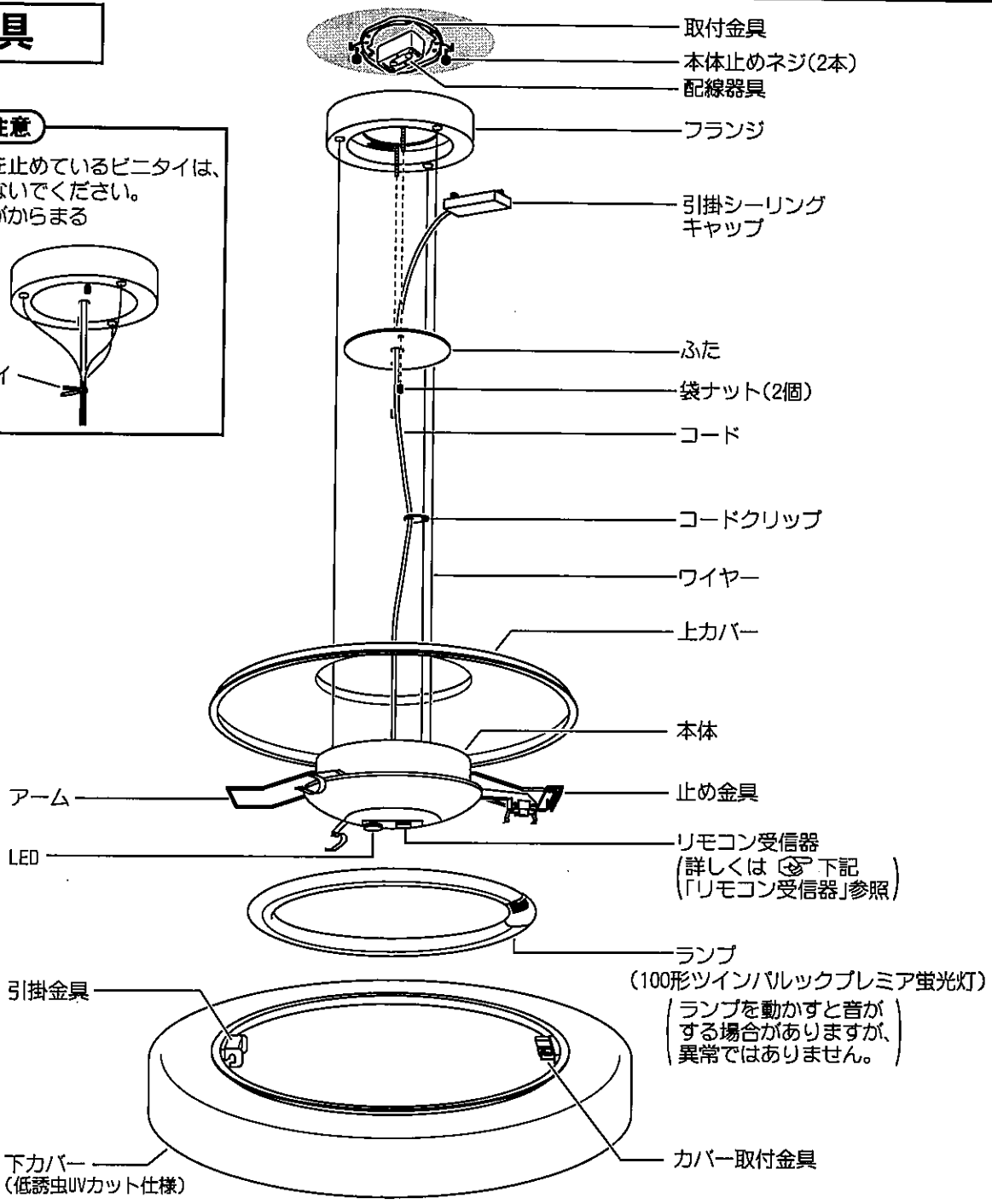
各部のなまえとはたらき

照明器具

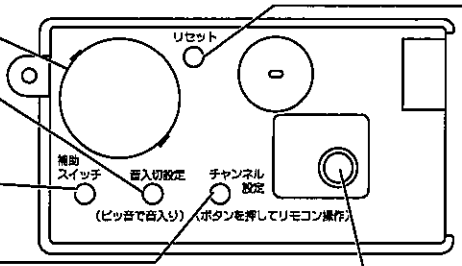
取り付け前のご注意

・ワイヤー・コードを止めているビニタイは、開梱時、取り外さないでください。施工中、ワイヤーがからまる原因となります。





リモコン受信器



LED

音入切設定スイッチ
押すごとにリモコン操作時の音を入/切します
「ピッ」と音がして「入」、無音で「切」

補助スイッチ
押すごとに全灯/消灯します

チャンネル設定スイッチ
器具にチャンネルを設定する場合に使用します
☞7ページ「複数のリモコン器具をそれぞれ操作する場合」参照

リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます。
(傷つけたり、汚したりしないでください。)

リセットスイッチ
動作が異常の場合に押します(注)
☞7ページ「故障かな？と思ったら」参照
(注)点灯時の明るさがお買い上げ時の設定に戻ります

●器具のチャンネル設定が解除されるため、再度設定する必要があります。

リモコンで設定する
①リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる。
②器具に向けてリモコンのいずれかのボタンを押す。
⇨「ピピーッ」と音がして設定完了

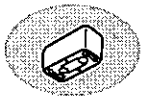
リモコンがない場合
補助スイッチを押す
⇨チャンネル2(又はⅠ-2)に設定されます

照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。☞2ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

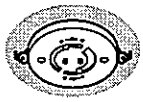
天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。 下記の準備を行ってください。


角型引掛シーリング
WG1000

丸型フル引掛シーリング
WG5005
WG5015

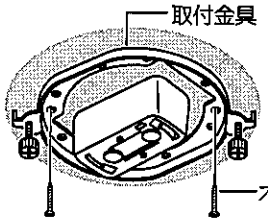
丸型引掛シーリング
WG4000　WG4420
WG4425　WG1500

フル引掛ローゼット
WG6005


引掛埋込ローゼット
WG6000　WG6130
WG6420

付属の取付金具の取り付けが必要です

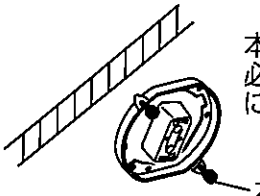
補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で取付金具を取り付ける



⚠警告

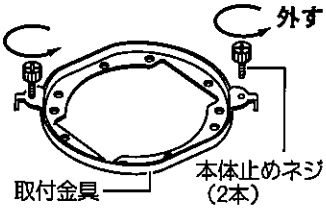
必ず守る　**取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する**
落下してけがのおそれがあります。

斜め天井の場合

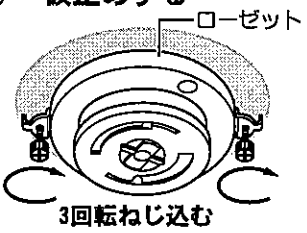


付属の本体止めネジの付け替えが必要です

①取付金具に付いている本体止めネジを外す
（取付金具は使用しません。）

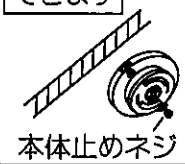


②ローゼットに本体止めネジを仮止めする

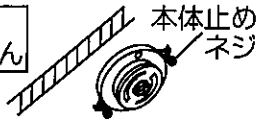


斜め天井の場合

取り付けできます



取り付けできません



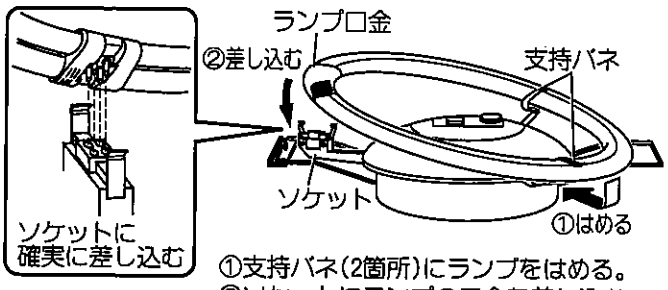
ローゼットの取付方向を変える必要があります。販売店、工事店に依頼してください。

●ボルトによる取り付け、アウトレットボックスに取り付ける場合は、販売店、工事店に依頼してください。
ボルト取り付け、アウトレット取り付けをする場合は別売りの取付金具(補修部品:HK956000SU)が必要です。

上記以外の配線器具の場合、または配線器具が設置されていない場合は、取り付けできません。

◎販売店、工事店に同梱の配線器具への取り替え、取り付けをご依頼ください。
◎工事には資格が必要です。

2 ランプを取り付ける

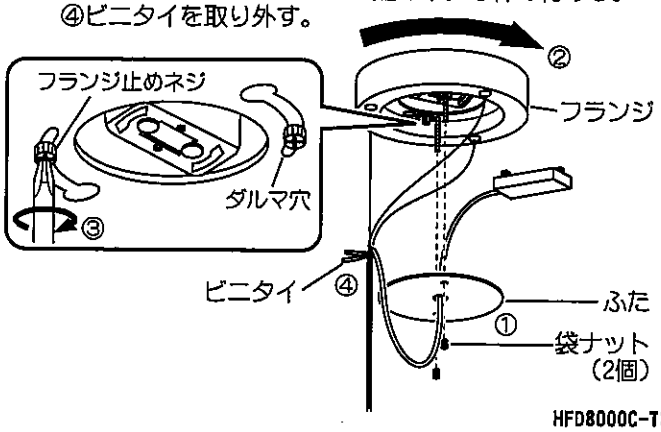


①支持バネ(2箇所)にランプをはめる。
②ソケットにランプの口金を差し込む。

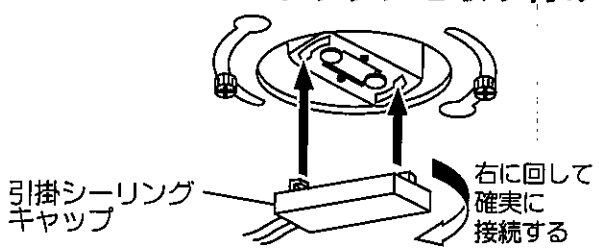
3 本体に上カバーをのせる

4 フランジを取り付ける

①袋ナット(2個)を外し、ふたを取り外す。
②フランジ止めネジとフランジのダルマ穴を合わせてフランジを押し上げ右に回す。
③ドライバーなどでフランジ止めネジを締め付ける。
④ビニタイを取り外す。



5 引掛シーリングキャップを取り付ける



6 ふたを取り付ける

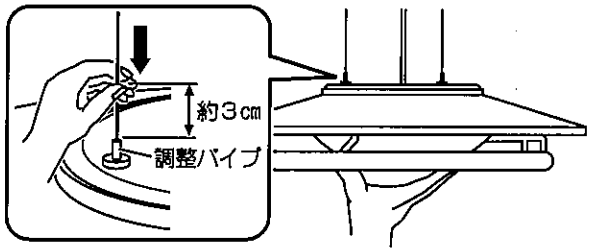
・袋ナット(2個)を確実に締め付けてください。

7 器具の高さを調整をする

・ワイヤー長さの調整範囲は約250cmです。
・ワイヤー長さの調整は、調整パイプ(3カ所)で行います。

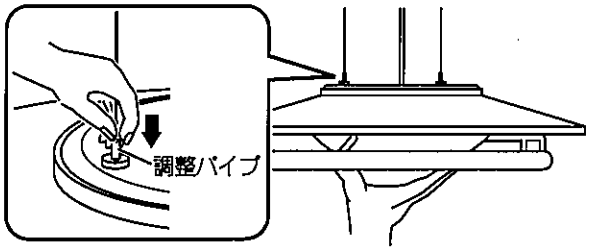
器具を上げる場合

・本体を片手で支えながら、
調整パイプの上約３cmの位置から
少しずつワイヤーを押し込む。



器具を下げる場合

・本体を片手で支えながら、調整パイプを下に押し、
少しずつワイヤーを引き出す。



⚠注意

■ワイヤー操作の前にコードを引き出す
コード破損の原因となることがあります。

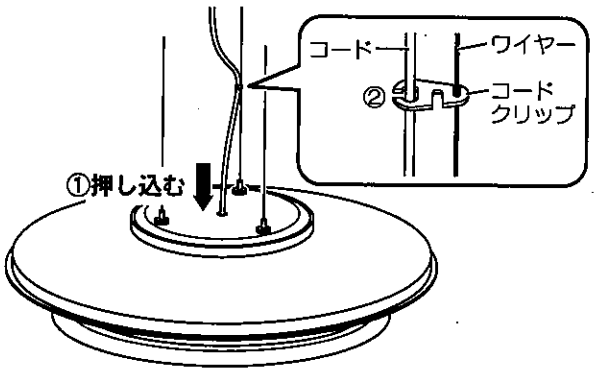
必ず守る

■調整パイプを押し込むときは
本体を片手でしっかり支えながら行う
調整パイプを押し込むと器具は急激に
下がりますので、守らないと落下による
けがの原因となることがあります。

確認 ・調整後、器具が傾いたり、ワイヤーが
たるんだりしていないか確認する。

8 コードの長さを調整する

①余ったコードを本体に押し込む。
②コードクリップでワイヤーにコードをとめる。

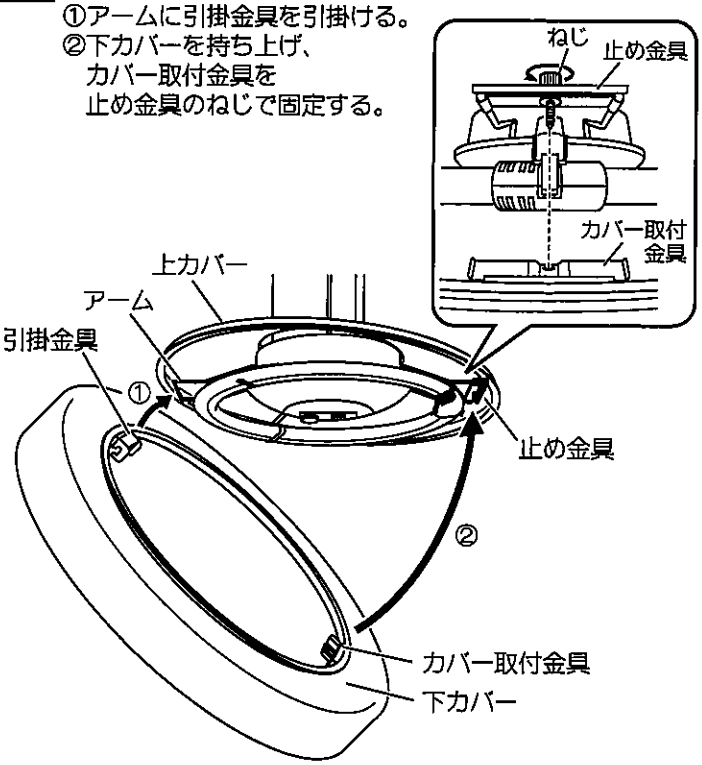


⚠注意

必ず守る **ワイヤーがたるんで**
いないことを確認する
コード破損の原因と
なることがあります。

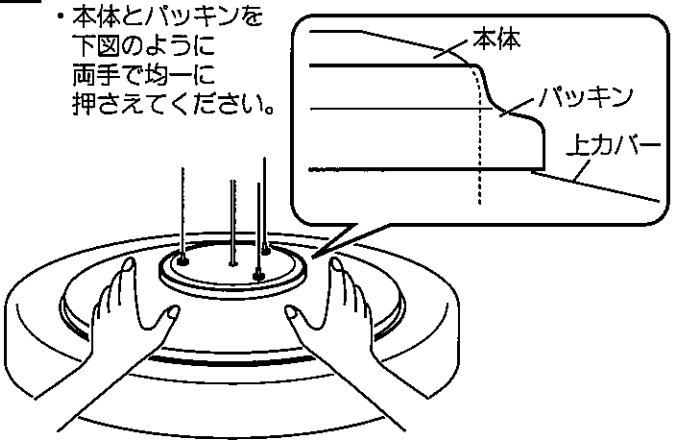
9 下カバーを取り付ける

①アームに引掛金具を引掛ける。
②下カバーを持ち上げ、
カバー取付金具を
止め金具のねじで固定する。



10 上カバーを押さえる

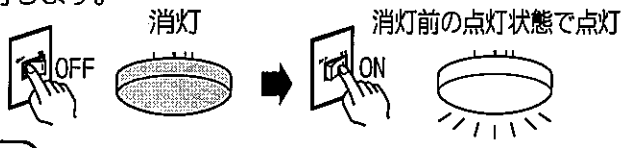
・本体とパッキンを
下図のように
両手で均一に
押さえてください。



壁スイッチで操作する

消灯する・点灯する

●壁スイッチをONすると、消灯前の点灯状態で点灯します。「お好みの明るさ」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「お好みの明るさ」で点灯、「LED」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「LED」で点灯します。



メモ

●壁スイッチをONしても点灯しない場合は、壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。

点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONすると、点灯状態が切り替わります。

メモ

●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのままだと待機電力(1.5W以下)を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。

リモコン(別売)で操作する

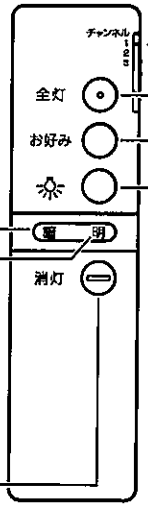
壁スイッチを「ON」にして、器具に向けて操作してください

別売のリモコンで、照明器具の操作ができ、蛍光灯、LEDの明るさが変えられます。
機種によりタイマーの機能があります。

HK9327K
●蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能

HK9470
●タイマー機能
●蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能
●LED手元灯付き

リモコン各部のなまえとはたらき (HK9327Kの使用例)



暗ボタン

蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
蛍光灯:100～約25%の明るさ
ＬＥＤ:6～1段階の明るさ

明ボタン

蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
蛍光灯:約25～100%の明るさ
ＬＥＤ:1～6段階の明るさ

メモ

●「お好みボタン」・「LEDボタン」を押した後、「明/暗ボタン」で明るさを変えた場合、その明るさを記憶します。
(☞下記「お好みの明るさで点灯させる」参照)

消灯ボタン

消灯します。

チャンネルスイッチ

操作したい器具のチャンネル 1～3 に合わせて使います。
(☞7ページ「複数のリモコン器具をそれぞれ操作する場合」参照)

全灯ボタン

蛍光灯が100%の明るさで点灯します。(注)
(注)押したときの明るさを変えることもできます。
(☞7ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照)

お好みボタン

明/暗ボタンで変えた明るさ(調光)で、蛍光灯が点灯します。
(お買い上げ時:約60%の明るさ)

LEDボタン

明/暗ボタンで変えた明るさで、LEDが点灯します。
(お買い上げ時:100%の明るさ)
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

お好みの明るさで点灯させる

蛍光灯

1 お好み ○ を押す
2 暗 明 で蛍光灯の明るさを変える

明るさ記憶 → 以後、再び左記の操作を行うまで お好み ○ を押すたびに、2で変えた明るさで点灯します。

ＬＥＤ

1 ☼ ○ を押す
2 暗 明 で LEDの明るさを変える

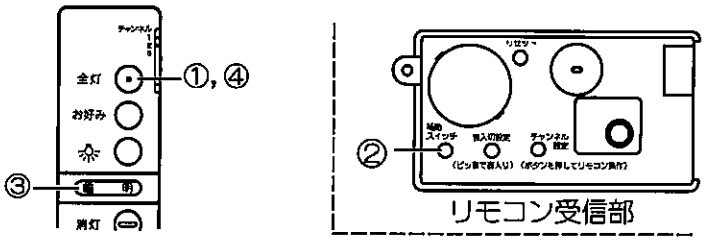
明るさ記憶 → 以後、再び左記の操作を行うまで ☼ ○ を押すたびに、2で変えた明るさで点灯します。

メモ ●リモコン受信器のリセットスイッチを押すと、蛍光灯、LEDともお買い上げ時の明るさに戻ります。

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100%～約25%の範囲で設定することができます。

①リモコンの　全灯(・)を押す
②リモコン受信器の補助スイッチを「ピッ」と音がするまで押し続ける
③リモコンの　(調　明)　で蛍光灯の明るさを変える
④リモコンの　全灯(・)を押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

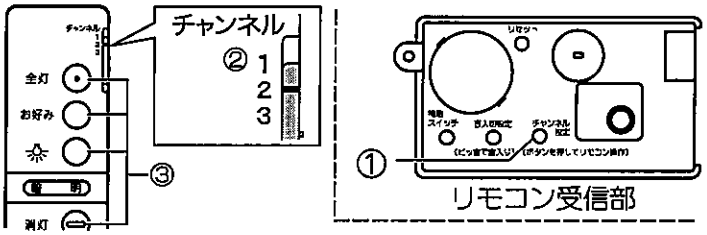


複数のリモコン器具をそれぞれ操作する場合

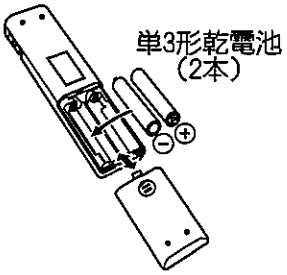
リモコンのチャンネルを変更すると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。

①リモコン受信器のチャンネル設定スイッチを押す
②リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる(例:チャンネル2)
③リモコンのいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

メモ　2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。

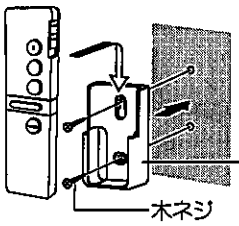


電池交換について



・乾電池は半年を目安に交換してください。
・乾電池の交換方法はお使いのリモコンの取扱説明書をご参照ください。

リモコンボックスについて



●リモコンは必ず器具に向けて操作してください。

リモコンボックス
紛失防止用に壁掛け収納できます。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的(6カ月に1回程度)に清掃してください。
・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置
点灯しない	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットにはめる
	ランプが切れている	ランプを交換する
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする (☞ 6ページ「壁スイッチで操作する」参照)
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを照明器具と合わせて操作する

左記の処置を行っても現象が続く場合

①電源をいったん切り、再度入れる
②器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③器具のチャンネルを設定する
(☞ 3ページ「リモコン受信器」参照)

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、販売店、工事店、別紙ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付　属　ラ　ン　プ
AC100V	50/60Hz共用	91W (リモコンOFF時、1.5W以下)	100形ツインパルックプレミア蛍光灯

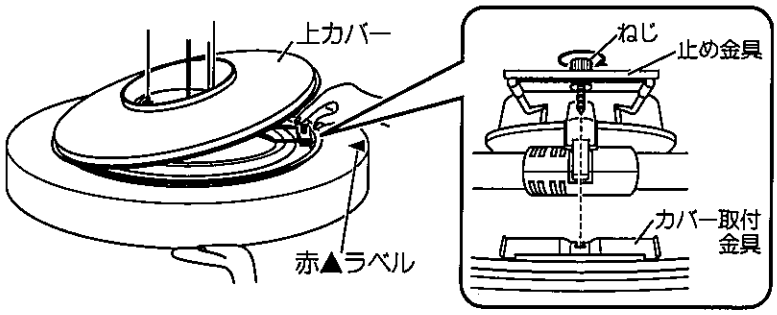
●ランプの光色はランプをご参照ください。

ランプを交換する　電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

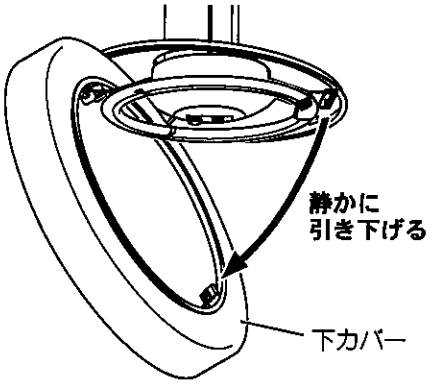
●ランプの明るさが低下したり、点滅をくり返したりするようになると寿命です。
パナソニック製ツインパルックプレミア蛍光灯をお買い求めください。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。

1 下カバーを外す

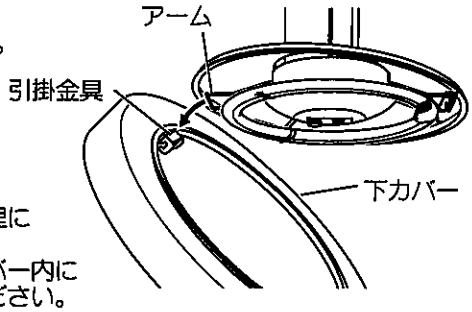
①赤▲ラベルの位置で上カバーを持ち上げ、
下カバーをささえながら
止め金具のねじをゆるめて
カバー取付金具から外す。



②下カバーを
静かに
引き下げる。



③アームから
引掛金具を外す。

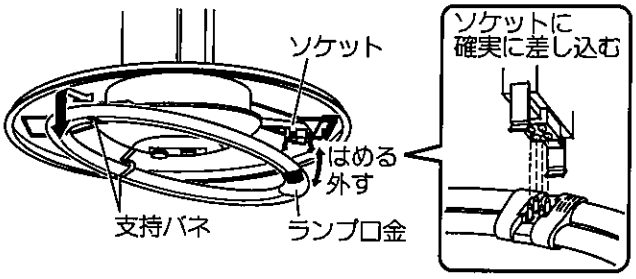


・下カバーを無理に
引張ったり、
ランプを下カバー内に
置かないでください。

2 ランプを交換する

・取り外す
①ランプ口金側を外す
②支持バネ側を外す

・取り付ける
①支持バネに差し込む
②ソケットに
ランプ口金をはめる



3 下カバーを取り付ける

☞5ページ
「照明器具を取り付ける」
手順 9 10 参照

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・使いかた・お手入れ などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください
▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話　（　）	ー
お買い上げ日	年　月　日

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

＊修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製　品　名	住宅用照明器具
●品　　番	○○○○○○
●故障の状況	できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、安定器については3年間です。またランプなどは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間 6年

＊当社はこの照明器具の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社　インテリア照明ビジネスユニット
〒571-8686 大阪府門真市門真1048
© Panasonic Corporation 2012

HFD8000C-T3A7
N1104-070112